

2026年5月(実行月4月) ゴルフ場利用税 月別ゴルフ場数・課税者数・非課税者数 【速報値】

●一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会調べ

(注1)「ゴルフ場利用税」の納付に基づいたデータのため、「2026年5月」は「2026年4月利用者数」となります。(〇月)が実行月

(注2) 本数字は速報値であり、精査の結果変わることもある。(例：県境ゴルフ場の隣接県との利用者数調査等)

(注3) 内容を無断で複製・複製等することは、著作権の侵害となりますので、ご注意ください。

	都道府 県地域 区分	2025年(R7) 5月(4月)				2026年(R8) 5月(4月)				総利用者数	対前年同期 増減数(人)
		ゴルフ 場数	課税者数	非課税者数	総利用者数	ゴルフ 場数	課税者数	対前年同期 増減数(人)	非課税者数		
1	北海道	139	173,099	49,805	222,904	140	199,865	26,766	61,308	11,503	261,173
2	青森	11	15,613	4,884	20,497	13	18,362	2,749	5,929	1,045	24,291
3	岩手	22	35,270	12,130	47,400	23	36,402	1,132	13,213	1,083	49,615
4	宮城	36	85,241	26,949	112,190	37	82,457	-2,784	28,751	1,802	111,208
5	秋田	15	20,452	8,016	28,468	15	20,331	-121	9,230	1,214	29,561
6	山形	16	21,655	8,476	30,131	16	24,029	2,374	10,272	1,796	34,301
7	福島	35	77,805	28,867	106,672	36	80,464	2,659	31,679	2,812	112,143
8	茨城	114	373,573	116,279	489,852	113	376,824	3,251	118,504	2,225	495,328
9	栃木	115	320,758	102,370	423,128	112	329,094	8,336	107,641	5,271	436,735
10	群馬	67	160,137	62,001	222,138	65	159,659	-478	64,219	2,218	223,878
11	埼玉	83	261,665	99,107	360,772	82	257,487	-4,178	99,558	451	357,045
12	千葉	158	546,229	143,007	689,236	159	562,790	16,561	148,331	5,324	711,121
13	東京	21	59,044	27,935	86,979	21	61,501	2,457	29,375	1,440	90,876
14	神奈川	52	157,671	75,355	233,026	52	165,505	7,834	76,348	993	241,853
15	新潟	35	67,504	26,582	94,086	40	71,521	4,017	28,559	1,977	100,080
16	富山	15	41,402	14,156	55,558	15	41,123	-279	15,190	1,034	56,313
17	石川	25	63,893	21,070	84,963	24	65,458	1,565	21,361	291	86,819
18	福井	13	30,615	11,798	42,413	13	31,178	563	11,752	-46	42,930
19	山梨	41	120,610	38,233	158,843	40	120,842	232	38,512	279	159,354
20	長野	64	102,742	45,918	148,660	64	102,956	214	47,170	1,252	150,126
21	岐阜	87	252,801	86,996	339,797	88	250,450	-2,351	86,203	-793	336,653
22	静岡	90	248,190	82,674	330,864	88	255,408	7,218	82,896	222	338,304
23	愛知	55	157,273	67,258	224,531	55	156,239	-1,034	63,850	-3,408	220,089
24	三重	67	231,156	68,187	299,343	66	217,526	-13,630	65,429	-2,758	282,955
25	滋賀	44	153,540	42,270	195,810	44	161,995	8,455	43,356	1,086	205,351
26	京都	32	99,929	33,523	133,452	32	94,125	-5,804	32,562	-961	126,687
27	大阪	39	145,895	54,504	200,399	38	138,555	-7,340	50,093	-4,411	188,648
28	兵庫	157	483,168	153,688	636,856	157	464,312	-18,856	222,127	68,439	686,439
29	奈良	35	105,010	33,405	138,415	35	101,619	-3,391	30,864	-2,541	132,483
30	和歌山	19	48,018	16,092	64,110	19	44,955	-3,063	15,285	-807	60,240
31	鳥取	11	20,436	8,083	28,519	11	19,281	-1,155	8,215	132	27,496
32	島根	7	15,199	6,742	21,941	7	15,330	131	6,582	-160	21,912
33	岡山	37	96,177	38,166	134,343	37	89,439	-6,738	33,913	-4,253	123,352
34	広島	47	125,972	44,364	170,336	44	113,940	-12,032	40,763	-3,601	154,703
35	山口	32	80,609	27,317	107,926	32	72,977	-7,632	24,390	-2,927	97,367
36	徳島	14	35,686	13,308	48,994	14	33,070	-2,616	12,292	-1,016	45,362
37	香川	18	46,967	17,766	64,733	18	43,026	-3,941	16,006	-1,760	59,032
38	愛媛	21	51,931	18,522	70,453	21	48,741	-3,190	16,740	-1,782	65,481
39	高知	12	30,109	12,308	42,417	12	27,147	-2,962	10,894	-1,414	38,041
40	福岡	58	207,765	54,379	262,144	58	193,816	-13,949	48,321	-6,058	242,137
41	佐賀	24	64,043	19,848	83,891	24	57,316	-6,727	18,121	-1,727	75,437
42	長崎	23	51,827	19,226	71,053	23	46,039	-5,788	17,142	-2,084	63,181
43	熊本	41	129,235	36,254	165,489	41	118,677	-10,558	33,021	-3,233	151,698
44	大分	23	72,839	24,422	97,261	23	63,156	-9,683	21,866	-2,556	85,022
45	宮崎	27	74,325	26,707	101,032	27	65,849	-8,476	22,021	-4,686	87,870
46	鹿児島	27	75,675	24,495	100,170	27	68,409	-7,266	22,373	-2,122	90,782
47	沖縄	31	100,666	23,543	124,209	31	97,356	-3,310	24,073	530	121,429
	全国計	2,155	5,939,419	1,976,985	7,916,404	2,152	5,866,601	-72,818	2,036,300	59,315	7,902,901

「2026年4月のゴルフ場利用状況(速報値)」について

■ 全体動向

2019年比で底堅い水準を維持、着実な定着を示す 2026年4月の全国における総利用者数は7,903千人となり、前年(2025年:7,916千人)同期比で99.8%とほぼ横ばいの安定した水準で推移いたしました。一時期の急激なゴルフブームによる需要拡大からは落ち着きを見せているものの、春のベストシーズンを迎え、堅調な利用需要を維持しています。また、コロナ禍前の2019年同期(7,557千人)と比較すると約346千人の増加(104.6%)となっており、全体として利用水準は底上げされ、当時よりもゴルフがレジャーとして深く定着していることが確認できます。

■ 利用者内訳

非課税者数が前年比プラス、幅広い世代への広がりが顕著に 本データの内訳を見ると、通常のプレーヤーを指す「課税者数」が5,867千人(前年比98.8%)とわずかに微減した一方で、高齢者やジュニア等を対象とした「非課税者数」は2,036千人(前年比103.0%)となり、前年実績を上回る結果となりました。非課税者数は2019年同期(1,771千人)比で見ると115.0%と大幅に伸びており、存在感をさらに強めています。これは、シニア層のアクティブなプレー継続や、ジュニア育成の取り組みが全国的に実を結んでいる 結果と言えます。年齢層を問わず、幅広い世代が日常的にゴルフ場に足を運ぶ構造が作られつつあります。

■ 地域別動向

北海道の大幅増に加え、関東甲信越・近畿の大都市圏も前年超え 地域別の動向では、北海道エリアが利用者数261千人で前年比117.2%と大幅に前年を上回りました。これは地方へのゴルフツーリズムの活発化に加え、今春の好天や雪解けの早さによるスムーズなシーズンオープンが寄与していると考えられます。また、関東甲信越エリア(2,966千人、前年比102.1%)や近畿エリア(1,400千人、前年比102.3%)など、大都市エリア・近郊エリアにおいても、前年の高水準をさらに上回る堅調な動きが見られました。主要なゴルフ需要地において依然として高いアクティビティが維持されており、若年層や女性ゴルファーの定着などポジティブな要素が随所に維持されていると察します。

■ 今後の展望

ゴルフ界として目指すべき方向性 今後のゴルフ界としては、非課税対象となるシニアやジュニア層へのアプローチをより一層強化しつつ、インバウンド需要のさらなる取り込みや魅力あるプレイスタイルの提案など、付加価値を高める経営努力を続けてしていくことが望ましいのではないかと考えられます。定着期へと移行した今だからこそ、あらゆる世代に選ばれる安全で快適なプレー環境の提供と魅力発信を、業界一丸となって推進していくことが重要ではないでしょうか。